

文化觀光部

観光プロモーション課

課長 勝山 裕美

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	観光総務事業		
担当所属	観光プロモーション課	連絡先	3191
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	観光総務費	
	基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱	松本市コンベンション促進事業補助金要綱				
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 部・課の庶務、観光全般にかかわる事務、コンベンション誘致に係る補助金事業 内容 (1)事務費等 部課庶務、観光に関する会議への出張、施設の維持管理費 (2)委託料 施設の清掃委託料 (3)観光施設整備基金積立金 指定管理者納付金と基金利子の積立 (4)補助金 コンベンション誘致促進に係る補助金	対象指標	①	
		②	
	活動指標	①	コンベンション開催補助件数
		②	
		③	
	成果指標	①	補助対象コンベンション開催による延べ宿泊者数
		②	松本市主要観光地入込者数
		③	
	効率指標	①	
		②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
・観光に関する経常的な事務として必要 ・コンベンション誘致促進事業は、市内の経済効果を鑑みても必要であり、令和5年度からは補助金の適用範囲を拡大し、さらなる団体誘致を目指している	今後の見込み		コスト		
			削減	維持	増大
	成果	上昇			○
	維持				
	縮小				
二次評価 (外部評価)					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	件	0	5	12	20	20	R5	60%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	人	0	2,656	5,585	8,000	8,000	R5	70%
	②	人	295,300	300,600	450,000	520,000	550,000	R7	82%
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

コロナウイルス感染拡大期のため、R2は実績が0、R3も中止やオンライン開催が増えた

成果指標の増減維持理由

コロナウイルス感染拡大期のため、R2は実績が0、R3も中止やオンラインとのハイブリッド開催により宿泊者数が減となった

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	19,636	349,611	10,665	27,644	37,422
事業費	千円	16,624	346,599	7,653	24,632	34,410
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	16,624	346,599	7,653	24,632
人件費合計	千円	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012
正規職員	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B	
----	---	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	観光団体育成事業		
担当所属	観光プロモーション課	連絡先	34-8307
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略		
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名
	基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略	
事業期間	~	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱			
地域区分		施設種別	
予算要求区分	経常・政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 本市及び周辺自治体並びに長野県等、他団体と連携した広域観光プロモーションに取り組むため、各種団体に負担金を支出するもの。 また、各団体等に対して補助金を支出し、各地域の魅力発信及び誘客促進を図るもの。 内容 1 負担金 (1) 松本観光コンベンション協会 (2) 日本アルプス観光連盟 (3) 美ヶ原観光連盟 (4) 長野県観光機構 (5) 中部森林管理局国有林観光施設協議会 (6) 信州まつもと空港利用促進協議会 (7) アルプスエアラインクラブ (8) ぶり街道推進協議会 (9) 信州まつもと空港地元利用促進協議会 (10) 学習旅行誘致推進協議会 2 補助金 (1) 浅間温泉観光協会 (2) 温泉地魅力創出發信事業 (3) 市民参加料理コンクール	対象指標
	① 負担金対象団体数
	② 温泉地魅力創出補助金対象団体数
	活動指標
	① 温泉地魅力創出補助金交付件数
	②
	③
	成果指標
	① 松本市主要観光地入込者数
	②
③	
効率指標	
①	
②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)																			
今後の実施方向性	前年度の結果 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止・縮小になることが続いた。ポストコロナのプロモーション強化が必要である。 ・各団体と協力・連携しながら、各種イベントの開催や広告宣伝、誘客事業等効果的な事業展開を図るとともに、広域圏での観光誘客を推進する。 ・各団体の特性を生かした事業展開のための支援を行うとともに、各団体で可能な限り、参加者アンケートや成果報告を分析し、さらなる観光振興を図る。																		
	今後の見込み <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増大</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>上昇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増大	成果	上昇			維持	○		縮小		
	コスト																		
	削減	維持	増大																
成果	上昇																		
	維持	○																	
	縮小																		

二次評価 (外部評価)	

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①	10	10	10	10	10			
	②	16	16	16	16	16			
活動指標	①	件	6	3	5	7	7	R6	71%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	人	2,546,241	2,628,196	3,771,473	4,980,000	5,470,000	R7	69%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	125,730	113,308	103,825	105,789	110,382
事業費	千円	111,078	98,656	89,173	91,137	95,730
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	111,078	98,656	89,173	91,137
人件費合計	千円	14,652	14,652	14,652	14,652	14,652
正規職員	千円	12,852	12,852	12,852	12,852	12,852
人員	人	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	東山地域観光施設事業		
担当所属	観光プロモーション課	連絡先	34-8307
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-5 世界に冠たる山岳リゾートの実現				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	東山地域観光施設事業費	
	基本施策	7-5 世界に冠たる山岳リゾートの実現			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 東山地域の観光誘客を図るため、各種パンフレットの印刷及び観光施設等の維持管理を行うもの。また、令和4年12月に策定した「美ヶ原再生計画」に基づき植生回復や施設改修を進めるもの。 内容 1 実施内容 (1) 美ヶ原高原登山道及び市内各所遊歩道等の維持管理 (2) 美鈴湖、美ヶ原温泉駐車場、思い出の丘公衆トイレ維持管理 (3) 観光施設土地賃貸借契約業務 (4) ロングトレイル、遊歩道等の観光マップ作成業務 (5) 観光施設維持管理業務 (6) 各種協会等負担金支払い事務 (7) 「美ヶ原再生計画」に基づく植生回復や施設改修 など 2 活動実績 (1) 美ヶ原・鉢伏登山道遊歩道維持管理委託 (2) 美鈴湖公衆便所清掃委託、汲み取り委託 (3) 三城いこいの広場、美ヶ原思い出の丘、美ヶ原温泉地域土地借上事務 (4) 遊歩道マップ、美ヶ原高原ロングトレイルマップ作成 (5) 三城いこいの広場、美ヶ原温泉駐車場・テニスコート管理委託 (6) 美ヶ原自然保護センター管理運営委託 (7) 松塩筑安曇野温泉協会、浅間温泉事業協同組合負担金 など	対象指標	①		
			②	
		活動指標	①	
			②	
			③	
		成果指標	①	美ヶ原高原入込者数
			②	
			③	
		効率指標	①	
			②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
指定管理者や委託業者とともに運営や維持管理に注意している。今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、美ヶ原ロングトレイルマップ等を作成するとともに、施設の維持管理を継続していきたい。また、R4年12月に策定した「美ヶ原再生計画」に基づき、今後は植生回復、受入施設の改修・管理見直し等に取り組みたい。			今後の見込み		
			コスト		
			削減	維持	増大
	成果	上昇			
	維持		○		
	縮小				
二次評価 (外部評価)					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	人	295,300	300,600	450,000	520,000	550,000	R7	82%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	9,972	9,972	36,391	51,378	46,624
事業費	千円			26,419	41,406	38,920
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	0	0	26,419	41,406
人件費合計	千円	9,972	9,972	9,972	9,972	7,704
正規職員	千円	9,072	9,072	9,072	9,072	6,804
人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	0.9
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	900	900	900	900	900
人員	人	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	観光施設営繕事業		
担当所属	観光プロモーション課	連絡先	34-8307
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	観光施設営繕事業費	
	基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別	観光・交流施設	予算要求区分	経常・政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
趣旨・目的 市内の所管観光施設の修繕、営繕工事を行い、利用者が安全に安心して利用できるよう施設等の維持管理を行う。	①
	②
内容	活動指標
1 需用費（公衆トイレ清掃用具など）	①
2 修繕	②
(1) 梓水苑・松香寮、竜島音温泉施設、ふれあい山辺館、浅間温泉会館等の修繕	③
(2) 三城いこいの広場、美鈴湖トイレ、梓川公衆トイレ等の修繕	
(3) 松茸山荘、松本市観光案内所等の修繕	
(4) 美ヶ原売店の修繕 など	
3 営繕工事（R4実績）	成果指標
(1) 登山道、遊歩道等補修工事	①
(2) 梓水苑地下タンク更新工事	②
(3) 松茸山荘別館東山館貯蔵タンクFRPライニング工事	③
(4) 美ヶ原駐車場売店避雷器設置工事	
(5) 梓水苑排水管改修工事	
(6) 竜島温泉スタンド改修工事	
(7) ふれあい山辺白糸の湯加圧給水ポンプユニット更新工事	
(8) 松香寮ボイラー計装機器修繕工事	効率指標
(9) 浅間温泉会館内風呂・露天風呂ろ材取替工事	①
(10) 松茸山荘本館解体工事 など	②

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
施設等については、管理者や指定管理者とともに維持管理に注意しており、今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、施設の維持管理を継続していきたい。			今後の見込み
			コスト
			削減 維持 増大
成果	上昇		
	維持	○	
	縮小		
二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①							
	②							
活動指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!
	③							#DIV/0!
成果指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!
	③							#DIV/0!
効率指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	19,041	16,986	25,032	134,363	23,926
事業費	千円	18,285	16,230	24,276	132,851	23,170
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	18,285	16,230	24,276	132,851
人件費合計	千円	756	756	756	1,512	756
正規職員	千円	756	756	756	1,512	756
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B	
----	---	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	山岳観光施設整備事業		
担当所属	観光プロモーション課	連絡先	34-8307
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-5 世界に冠たる山岳リゾートの実現				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	山岳観光施設事業費	
	基本施策	7-5 世界に冠たる山岳リゾートの実現			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別	観光・交流施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
趣旨・目的 山岳地域の遊歩道や登山道等の維持管理を行うもの。	①
内容 1 美ヶ原高原ロングトレイルのPR 四賀の金山町、美ヶ原、鉢伏山から牛伏寺砂防ダムに至る約4.5kmの遊歩道及び登山道を「美ヶ原高原ロングトレイル」と称し、東山一帯の魅力ある豊かな自然を楽しんでもらうため、各コースの踏破証を発行するなど周知し、誘客促進を行うもの。 2 遊歩道、登山道の整備 ア 遊歩道等整備のための消耗品費(トラロープなど) イ 国有林内の遊歩道等の借上料 ウ 遊歩道等の整備管理委委託料 (ア) 美ヶ原ロングトレイル (イ) 美鈴湖自転車ロード (ウ) 金松寺山登山道 など 3 活動実績 (1) 美ヶ原高原ロングトレイルガイドブックの販売 (2) 美ヶ原高原ロングトレイル整備業務委託(委託先:松本広域森林組合) (3) 美鈴湖自転車ロード維持管理業務委託(委託先:榊柳澤林業) (4) 金松寺山・天狗岩登山道整備業務委託(委託先:松本広域森林組合) など	②
	活動指標
	①
	②
	③
	成果指標
	①
	②
	③
	効率指標
	①
	②

【今後の方向性】

一次評価(内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
遊歩道等の整備については、委託業者や関係者等とともに都度対応しており、今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、登山道等の維持管理を継続していきたい。			今後の見込み	
			コスト	
	成果	上昇	削減	維持
	維持		○	
	縮小			
二次評価(外部評価)				

【指標の推移】

	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①							
	②							
活動指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!
	③							#DIV/0!
成果指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!
	③							#DIV/0!
効率指標	①							#DIV/0!
	②							#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	7,600	7,269	7,256	7,212	7,392
事業費	千円	5,788	5,457	5,444	5,400	5,580
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	5,788	5,457	5,444	5,400
人件費合計	千円	1,812	1,812	1,812	1,812	1,812
正規職員	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	300	300	300	300	300
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B	
----	---	--

文化振興課

課長 清澤 明子

課長 神谷 孝

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	音楽文化ホール管理運営事業		
担当所属	文化振興課	連絡先	0263-34-3293
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	音楽文化ホール管理運営費	
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図る。 また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。 内容 1 音楽文化ホール運営委員会（※） 音楽文化ホールの適正な運営について協議。令和5年3月17日実施 ※ホールの適正な運営を図るため、運営委員会を設置、学校教育関係者、音楽文化団体関係者の代表、経済団体及び社会事業団体関係者の代表、学識経験者等10名で構成 2 管理運営 施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、（一財）松本市芸術文化振興財団を指定管理者とする。 3 施設改修 安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの ア 工事 喫茶室空調機器更新工事 イ 修繕 無停電電源装置修繕 ウ 検査 地下タンク配管別検査 4 事業 指定管理者である松本市芸術文化振興財団がコンサート等の各種事業を実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	音楽文化ホール来館者数及び事業参加者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
・松本市の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、今後も音楽文化ホールの適正な管理運営を図る。 ・施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。	今後の見込み コスト 削減 維持 増大	成果	上昇		
			維持		
			縮小		○
二次評価（外部評価）					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	16,811	28,130	53,468	55,000	60,000	R7	89%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

令和2、3年度は新型コロナウイルス拡大防止の影響を受け、イベントの中止や観客数の制限が見られたが、令和4年度は再開されたイベントも多く、復調傾向にある。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	120,241	102,869	117,846	119,786	98,160
事業費	千円	112,681	95,309	110,286	112,226	90,600
特定財源	国庫支出金	千円				0
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	112,681	95,309	110,286	112,226
人件費合計	千円	7,560	7,560	7,560	7,560	7,560
正規職員	千円	7,560	7,560	7,560	7,560	7,560
人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
 一次評価 B になっている

【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか
 一次評価 C 概ね結びつくものになっている

【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか
 一次評価 C 概ねなっている

【総合評価】

評価	C		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	鈴木鎮一記念館管理事業		
担当所属	文化振興課	連絡先	0263-34-3293
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	鈴木鎮一記念館管理費	
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	予算事業		
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保存及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る。 内容 1 管理運営 施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、公益社団法人才能教育研究会を指定管理者とする。 2 施設改修 施設の安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行う (1) サンプルーム屋根工事、ブロック解体・フェンス新設工事 3 指定管理者による主な事業 (1) 鈴木鎮一記念館コンサート 令和4年度も令和3年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (2) 歌声サロン 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送っていたが、令和4年1月から再開。月1回のペースで実施予定。	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	鈴木鎮一記念館への来館者及び事業参加者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
・才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保存及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、今後も文化芸術意識の広報を図る。 ・スズキメソッド発祥の地であるため、楽都松本として、保存活用の方法を検討していく。			今後の見込み	
			コスト	
			削減	維持
成果	上昇	維持	縮小	
二次評価 (外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	413	553	1,206	1,500	2,000	R7	60%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	4,125	3,876	4,026	5,105	4,246
事業費	千円	3,369	3,120	3,270	4,349	3,490
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	3,369	3,120	3,270	4,349
人件費合計	千円	756	756	756	756	756
正規職員	千円	756	756	756	756	756
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	C 概ねなっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか	
一次評価	C 概ね結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか	
一次評価	C 概ねなっている

【総合評価】

評価	C
----	---

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	波田文化センター管理運営事業		
担当所属	文化振興課	連絡先	0263-34-3293
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	波田文化センター管理運営費	
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 西部地域の文化芸術活動の拠点施設として、市民の文化芸術の振興と福祉の増進を図るため、波田文化センターの適正な維持及び管理運営を行う。 内容 1 管理運営 施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とする。 2 施設改修 施設の安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行う。 (1) 工事 非常放送ユニット取替工事、放送設備電源ユニット等取替工事 (2) 修繕 男子トイレ小便器交換、空調機1号機再生器温度異常修理 3 事業 指定管理者である松本市芸術文化振興財団がコンサート等の各種事業を実施	対象指標	①	
		②	
	活動指標	①	波田文化センター来館者数及び事業参加者数
		②	
		③	
	成果指標	①	
		②	
		③	
	効率指標	①	
		②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
・松本市の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、今後も波田文化センターの適正な管理運営を図る。 ・施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。 ・利用率が低下しているため、施設の在り方を検討中。地元住民や利用団体を含んだ協議会を開催し、令和7年度末までに公共施設再配置計画案を策定する。		今後の見込み		
			コスト	
			削減	維持
	成果	上昇		○
		維持		
		縮小		
二次評価 (外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	5,880	6,067	11,544	13,000	16,000	R7	72%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

令和2、3年度は新型コロナウイルス拡大防止の影響を受け、イベントの中止や観客数の制限が見られたが、令和4年度は再開されたイベントも多く、復調傾向にある。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	45,233	36,600	50,783	40,273	40,784
事業費	千円	42,209	33,576	47,759	37,249	37,760
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	42,209	33,576	47,759	37,249
人件費合計	千円	3,024	3,024	3,024	3,024	3,024
正規職員	千円	3,024	3,024	3,024	3,024	3,024
人員	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	C 概ねなっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか	
一次評価	D 想定を下回る成果や効果となっており、改善が必要
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか	
一次評価	E コストに見合う成果や効果につながっていない

【総合評価】

評価	D
----	---

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業		
担当所属	文化振興課	連絡先	0263-33-3800
関連所属	まつもと市民芸術館		

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進		
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	
事業期間	~	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱	まつもと市民芸術館条例		
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設
予算要求区分	経常・政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本市の文化芸術振興を図るため、拠点であるまつもと市民芸術館の適正な管理・運営を行い、市民自らが文化芸術を創造、享受できる環境を提供するもの。 内容 1 事業内容 (1) (一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者に選定し、施設の効率的かつ適正な管理運営を運用を図った。 ○令和4年度 来場者数 主ホール 80,906人 小ホール 14,864人 スタジオ系 9,122人 その他 54,878人 合計 159,770人 (2) 計画的な予防保全・修繕を行い、利用者が安心して利用できる環境を整えた。 ○主な工事・修繕内容 ア まつもと市民芸術館屋外露出防水改修工事 イ まつもと市民芸術館LED照明カスタマイズ業務 (3) 指定管理者が松本発信の事業を展開するとともに、国内外から優れた舞台芸術作品を招聘し、市民に鑑賞を機会を提供するための自主活動を補助した。 ○指定管理者が実施した自主事業の内容 (補助対象事業の令和4年度実績) 5事業 32公演 117ステージ 58,925人入場	対象指標
	①
	②
	活動指標
	① 来場者数
	②
	③
	成果指標
	①
	②
③	
効率指標	
①	
②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	拡大	前年度の結果	拡大
・「まつもと市民芸術館のこれからを考える専門家会議」の提言要旨に沿って検討を進める。 1 芸術監督制は継続すべきであること 2 次代を担う子どもたちのために必要とされる劇場とすること 3 スタッフの充実を図ること 4 市民をパートナーとして協働をすすめること 5 芸術文化に携わる者を養成すること 6 芸術文化に必要な予算を確保すること		今後の見込み	コスト
成果	上昇	削減	維持
	維持	増大	○
縮小			
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	来場者数	71,719	162,593	159,770	156,000		R7	#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
令和3年度に比べ、大型事業が少なかった（歌舞伎公演がなかった）ため									
成果指標の増減維持理由									
R2、3年度ともにコロナの影響により来場者は少ない。									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	450,930	457,153	477,025	636,761	542,320
事業費	千円	443,370	449,593	469,465	629,201	534,760
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	443,370	449,593	469,465	629,201
人件費合計	千円	7,560	7,560	7,560	7,560	7,560
正規職員	千円	7,560	7,560	7,560	7,560	7,560
人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						
施設改修・修繕費が年度により変動があるため。 指定管理料の追加を行ったため。						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	A	市の目指す姿に大きく貢献する事業 松本市を代表する文化芸術施設として、市内外から高い評価の劇場である。
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	A	想定以上の成果や効果に結びつくものになっている 令和3年度に組織した「まつもと市民芸術館のこれからを考える専門家会議」から、令和4年に提言をいただいた内容から、高い成果について評価をいただいている。
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	A	かけたコスト以上の成果や効果につながっている事業 指定管理者制度のもと、効率的な運営ができている。

【総合評価】

評価	A				
----	---	--	--	--	--

松本城管理課

課長 百瀬 功三

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	事務管理事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	事務管理費	
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本城の管理運営に係る基本的な事業費 内容 需用費（観覧券印刷、消耗品）、委託料（駐車場管理、各種保守点検、警備、清掃等）、使用料、備品費、消費税等の支出	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
・令和4年度は新型コロナウイルスの影響が続いたものの、社会経済活動の回復を図る国の施策等により、来場者が増加した。 ・来場者の増加や物価高に伴う経費の増加が生じたが、削減できるところは削減し適正な経費の執行に努めた。 ・松本城の保全、天守公開に必要な経費であるため、今後も継続して実施していく。			今後の見込み
	成果	上昇 維持 縮小	
二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	117,089	102,397	101,163	140,907	152,668
事業費	千円	88,433	75,241	71,235	110,979	122,740
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	88,433	75,241	71,235	110,979
人件費合計	千円	28,656	27,156	29,928	29,928	29,928
正規職員	千円	19,656	19,656	9,828	9,828	9,828
人員	人	2.6	2.6	1.3	1.3	1.3
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	9,000	7,500	20,100	20,100	20,100
人員	人	3.0	2.5	6.7	6.7	6.7
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	天守管理事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	天守管理事業費	
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 国宝松本城天守の公開及び安全管理と、天守耐震診断結果を踏まえた安全対策の強化 内容 天守公開用の消耗品、屋根・内部等の特別清掃、入場者安全対策等を実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
	①	
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)						
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	今後の見込み		
松本城天守内における来場者の案内、安全管理、避難誘導體制の確立及び城内清掃は重要な業務であるため、今後も継続して実施していく。				コスト		
				削減	維持	増大
				成果	上昇	維持
				○		
二次評価 (外部評価)						

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	83,885	80,178	81,885	83,218	86,352
事業費	千円	81,317	77,610	80,073	81,406	84,540
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	81,317	77,610	80,073	81,406
人件費合計	千円	2,568	2,568	1,812	1,812	1,812
正規職員	千円	2,268	2,268	1,512	1,512	1,512
人員	人	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	300	300	300	300	300
人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	庭園・公園管理事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	庭園・公園管理費	
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 文化観光施設として多くの市民・観光客が訪れる松本城本丸庭園と松本城公園の景観の保全管理を行うもの 内容 本丸庭園・松本城公園の清掃、樹木の管理等	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
	①	
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
本丸庭園及び松本城公園は、国の指定する史跡内にあり、天守を中心とした松本城を構成する重要な場所であるため、適切な管理が必要である。今後も環境美化、景観保全、樹木保全等を継続して実施していく。		今後の見込み	
		コスト	
成果	上昇		
	維持		
	縮小		○
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	29,645	28,793	30,946	32,070	33,720
事業費	千円	25,877	25,025	25,066	26,190	27,840
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円	12,938	12,512	12,532	13,425
一般財源	千円	12,939	12,513	12,534	12,765	13,920
人件費合計	千円	3,768	3,768	5,880	5,880	5,880
正規職員	千円	2,268	2,268	3,780	3,780	3,780
人員	人	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,500	1,500	2,100	2,100	2,100
人員	人	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	観光宣伝事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	庭園・公園管理費
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本城の魅力をホームページ等による情報発信で広く伝え、誘客を図るとともに、観覧用のパンフレットの配布や、おもてなし隊によるおもてなしで、来場者への松本城に対する理解やサービスを高め、更なる誘客につなげていくもの。 内容 パンフレット等の印刷、旅行会社からの観光斡旋事業、国宝松本城おもてなし隊の業務委託、ホームページ運用・保守管理委託、松本城VR運用・保守管理委託	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
松本城の魅力を広く発信するとともに、来場者の満足度を高める事業であるため、内容の充実を図りながら継続して実施していく。			今後の見込み		
			コスト		
	成果	上昇 維持 縮小	削減	維持	増大
二次評価 (外部評価)					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	23,206	20,366	27,879	30,463	32,144
事業費	千円	20,938	18,098	17,295	19,879	21,560
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	20,938	18,098	17,295	19,879
人件費合計	千円	2,268	2,268	10,584	10,584	10,584
正規職員	千円	2,268	2,268	10,584	10,584	10,584
人員	人	0.3	0.3	1.4	1.4	1.4
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B				
----	---	--	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	施設整備事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光			
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	庭園・公園管理費
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承	予算事業	
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別
根拠法令要綱				
地域区分		施設種別		予算要求区分 経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 国宝松本城天守及び松本城公園の施設の適切な維持管理を行い、歴史的景観の維持と利用者環境の維持、保全に努める。 内容 天守の漆塗替え工事の実施、施設整備基金への積み立て 令和4年度は、埋橋の橋脚コンクリート強度調査を実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
	①	
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
松本城の歴史的景観の維持と利用者環境の維持、保全は重要であるため、今後も適切な施設整備を計画的に実施していく。		今後の見込み	
		コスト	
		削減	維持
成果	上昇		
	維持	○	
	縮小		
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	70,346	55,462	22,194	182,682	66,994
事業費	千円	61,130	46,246	18,870	179,358	63,670
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円	540	550		
	一般財源	千円	60,590	45,696	18,870	179,358
人件費合計	千円	9,216	9,216	3,324	3,324	3,324
正規職員	千円	8,316	8,316	3,024	3,024	3,024
人員	人	1.1	1.1	0.4	0.4	0.4
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	900	900	300	300	300
人員	人	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

ふるさと納税の増加、土地売払い収入等を松本城施設整備基金に積み立てたため。

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	松本城世界遺産推進事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	松本城世界遺産推進事業費	
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 世界遺産推進事業に係る一般会計への繰出金 内容 一般会計文化振興費松本城世界遺産推進事業費の調査研究に係る委託料、負担金等の財源とするための繰出金	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
世界遺産登録へ向けての機運醸成等のために、今後も継続して実施するもの		今後の見込み		
成果	上昇 維持 縮小	コスト		
		削減	維持	増大
		○		

二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	H7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	5,478	5,807	4,983	8,875	6,330
事業費	千円	5,478	5,807	4,983	8,875	6,330
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	5,478	5,807	4,983	8,875
人件費合計	千円	0	0	0	0	0
正規職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	危機管理防災対応事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	庭園・公園管理費
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 災害の発生に備え、観光客や市民の安全を確保するとともに、史跡、国宝に指定されている松本城の文化財的価値の被害軽減に取り組む 内容 天守及び管理事務所等の防災ネットワークの保守点検（年1回）、天守の電気設備点検（年1回）	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	点検の実施回数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
防災機器の保守点検は必要不可欠であるため、今後も継続して実施していく。			今後の見込み コスト 削減 維持 増大
成果	上昇 維持 縮小		○

二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	回	1	1	1	1	1	R7	100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	1,694	1,693	2,750	2,505	2,772
事業費	千円	938	937	938	693	960
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	938	937	938	693
人件費合計	千円	756	756	1,812	1,812	1,812
正規職員	千円	756	756	1,512	1,512	1,512
人員	人	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	300	300	300
人員	人	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	松本城学びと研究事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	松本城学びと研究事業	
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本城赤羽コレクション火縄銃に関するメンテナンス経費等 内容 動産総合保険（火縄銃）、古式銃清掃整備	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	火縄銃メンテナンス回数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
赤羽コレクションの古式銃の維持管理は必要であるので、今後も継続して実施する			今後の見込み
成果	上昇 維持 縮小	コスト	
		削減	維持
		○	

二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	回	1	1	1	1	1	H7	100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	560	560	560	547	890
事業費	千円	560	560	560	547	890
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	560	560	560	547
人件費合計	千円	0	0	0	0	0
正規職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	負担金 (管理費)		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	負担金
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承			
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計	事業種別	
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 各種会議等出席の負担金 内容 全国城郭管理者協議会負担金、会議・研修等負担金、防火管理協会負担金	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	支払回数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
全国城郭管理者協議会負担金、防火管理協会負担金については、業務に必要な関連団体への負担金であるため、継続して実施するもの			今後の見込み		
			コスト		
成果	上昇				
	維持 縮小		○		
二次評価 (外部評価)					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	回	2	2	2	2	2	H7	100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	40	40	40	35	60
事業費	千円	40	40	40	35	60
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	40	40	40	35
人件費合計	千円	0	0	0	0	0
正規職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	売店管理運営事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承		
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名
	基本施策	7-2 歴史・文化遺産の継承	
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計
事業種別			
根拠法令要綱			
地域区分		施設種別	
予算要求区分	経常経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本城を訪れた観光客等に、旅の記念や土産品として、松本城の関連商品を販売することで、来訪の満足度を高め、旅の思い出づくり等に寄与するもの 内容 松本城本丸庭園内売店の管理運営	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	売店売上額
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
売店運営は、来場者サービスにおいても重要であり、収入は松本城特別会計の主要な財源であるため、継続して実施していく。			今後の見込み コスト 削減 維持 増大
成果	上昇 維持 縮小		○

二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	千円	41,042	91,305	157,210	163,770	175,000	R7	90%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により売上が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和7年度はコロナ前の令和元年度の110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	113,631	52,310	104,085	109,114	117,050
事業費	千円	102,363	41,042	91,305	96,334	104,270
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	102,363	41,042	91,305	96,334
人件費合計	千円	11,268	11,268	12,780	12,780	12,780
正規職員	千円	2,268	2,268	3,780	3,780	3,780
人員	人	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
人員	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
 一次評価 B になっている

【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか
 一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか
 一次評価 B になっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度 継続事務事業)

事務事業名	各種行事運営事業		
担当所属	松本城管理課	連絡先	32-2902
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略		
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業
	基本施策	7-4 変化する時代の観光戦略	中事業名
事業期間	~	会計種別	松本城特別会計
事業種別			
根拠法令要綱			
地域区分		施設種別	
予算要求区分	経常経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 松本城を中心に各種イベント・行事を行い、観光誘客や市民参加を図り、中心市街地に経済的な好循環を生み出すとともに、松本城への親しみを高め、世界遺産登録へ向けた機運等を醸成する。 内容 松本城を中心とした各種イベントの実施 ・4月 国宝松本城夜桜会 ・5月 市制記念日に伴う天守・本丸庭園無料開放 国宝松本城雅楽公演 ・6月 国宝松本城古流砲術演武 ・7月 国宝松本城太鼓まつり ・8月 国宝松本城新能 ・11月 国宝松本城Week ・12月～2月 国宝松本城レーザーマッピング ・1月 国宝松本城新春祝賀特別公開 ・1月～2月 国宝松本城天守ナイトツアー	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本城来場者数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
・令和4年度はコロナとの社会経済活動の両立の中で、感染対策に留意しながら多くのイベントや行事が実施できた。 ・11月10日が松本城の日と制定された初年度であるため、従来のお城まつりを松本城Weekとし、11月3日から10日までの期間を通して松本城を学び、楽しむことができるイベントに変更した。今後も松本城の日の定着や世界遺産登録推進を目指して継続実施する。		今後の見込み		
		成果	上昇維持縮小	コスト
			○	
二次評価 (外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	311,431	403,909	734,865	860,000	940,000	R7	78%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度～3年度はコロナ渦により来場者が減少したが、令和4年度以降は回復傾向となる。令和4年度はコロナ前の令和元年度の80%、令和5年度は100%、令和7年度は110%を目指す。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	38,804	15,144	28,151	31,530	35,130
事業費	千円	26,708	3,048	15,611	18,990	22,590
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	26,708	3,048	15,611	18,990
人件費合計	千円	12,096	12,096	12,540	12,540	12,540
正規職員	千円	12,096	12,096	11,340	11,340	11,340
人員	人	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	1,200	1,200	1,200
人員	人			0.4	0.4	0.4
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B				
----	---	--	--	--	--

美術館

副館長 忠地 智司

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	美術館管理運営事業		
担当所属	美術館	連絡先	39-7400
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	美術館管理運営費
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな生活に資するため、美術館が目指す4つの柱（鑑賞・表現・学習・交流の場）を踏まえた管理運営を実施する。 内容 美術館の管理運営部門について、5年間（令和4年度～令和8年度）の特命指定として一般財団法人松本市芸術文化振興財団へ委託している。 (指定管理内容) 1 施設運営に関する業務 受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等 2 施設管理に関する業務 (1) 警備業務 (2) 施設・設備の保守維持管理、小規模修繕 R4修繕（自動ドア、空調、照明等） 7件 (3) 清掃業務等 3 経営管理業務 4 自主事業（施設利用促進のための事業） 企画展へのオンラインチケット導入 3回	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	
	②	
	③	
	成果指標	
	①	美術館ギャラリー稼働率
	②	ミュージアムショップ物品売払収入
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	今後の見込み	
・利用者が安全で快適に使用できるよう、施設、設備の適切な維持管理を継続していく。 ・来館者に対するホスピタリティの高い案内・対応を心がけ、「また来たい」「また利用したい」と思っただけの施設運営を行う。 ・ショップは常設・企画展示室に続く第3の展示室と考えた商品の選定、企画販売を行う。				コスト	
					削減 維持 増大
	成果	上昇	維持	縮小	○

二次評価（外部評価）				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	%/年	40	0	85	90	90	R7	94%
	②	千円/年	42,449	0	111,502	56,900	56,900	R7	196%
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約2カ月間休館。開催予定であった企画展も中止となり、来館者が減少したため、ミュージアムショップの売払収入も減少した。令和3年度は大規模改修により約1年間休館していた。令和4年度は令和元年度以前の状況を取り戻してきている。また美術館事業による来館者増の影響もありミュージアムショップの売れ行きが好調であった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
トータルコスト	千円	256,049	219,615	113,374	276,985	230,870	
事業費	千円	233,369	196,935	90,694	254,305	208,190	
特定財源	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	受益者負担	千円	5,620	1,490		4,069	5,990
	その他	千円	79,816	44,041	40	113,837	58,608
	一般財源	千円	147,933	151,404	90,654	136,399	143,592
人件費合計	千円	22,680	22,680	22,680	22,680	22,680	
正規職員	千円	22,680	22,680	22,680	22,680	22,680	
人員	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0	
人員	人						
会計年度(3類)職員	千円						
その他職員	千円						

トータルコストの増減維持理由

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約2カ月間休館。令和3年度は大規模改修により約1年間休館したことによりコスト減となっている。令和4年度は売店仕入価格の増と電気及びガス料金の高騰によりコスト増となった。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	アカデミア館管理運営事業		
担当所属	美術館	連絡先	39-7400
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	アカデミア館管理運営費	
	基本施策	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	予算事業		
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱					
地域区分	-	施設種別	文化・コミュニティ施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな生活に資するため、松本市西部地域の拠点として、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場の創造を目指すもの。 内容 アカデミア館の運営について、5年間（令和4年度～令和8年度）の特命指定として一般財団法人松本市芸術文化振興財団へ委託している。 (指定管理内容) 1 施設の事業に関する業務（展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出） 2 施設運営に関する業務（開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出） 3 施設管理に関する業務（警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等） 4 経営管理業務 5 展覧会、自主事業等の開催 (1) 主催展覧会 信州梓川賞展、現代アート 樹田千秋展 太田克己多色摺り木版画展 (2) 貸館（ギャラリー）展示・コンサート等 25件 （展示12、コンサート8、物販2、その他3（ダンス教室発表会、けん玉イベントなど）） (3) アクセスギャラリー他無料スペースでの展示等4件 (4) 自主事業 ウィンターコンサート、ワークショップ8回	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	企画展の開催数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	入館者数
	②	信州梓川賞展の一般の部作品応募数
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
・（一財）松本市芸術文化振興財団に施設の管理運営を委託していることに伴い、美術館の付属施設として、一体的な管理のため、美術館と連携・協力しながら市の施策と一体性を保っている。 ・西部地区の文化・美術の生涯学習の拠点として位置づけ、様々な企画展やワークショップを企画、開催する。	今後の見込み コスト 削減 維持 増大	成果	上昇
		維持	○
		縮小	
二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	件/年	3	4	3	4	4	R7	75%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	人/年	6,868	12,180	13,120	20,000	20,000	R7	66%
	②	点/回	71	86	68	100	100	R7	68%
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により約2カ月間休館し、ウィンターコンサートと一部ワークショップの中止などが要因で来館者数が減少した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
トータルコスト	千円	20,393	63,213	21,244	20,217	21,632	
事業費	千円	18,881	61,701	19,732	18,705	20,120	
特定財源	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	受益者負担	千円	984	768	870	895	960
	その他	千円	844	837	892	1,006	1,028
	一般財源	千円	17,053	60,096	17,970	16,804	18,132
人件費合計	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	
正規職員	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0	
人員	人						
会計年度(3類)職員	千円						
その他職員	千円						

トータルコストの増減維持理由

令和2年度は駐車場用地を取得したため、コスト増となっている。

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

スポーツ事業推進課

課長 山本 茂

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度 継続事務事業)

事務事業名	スポーツ振興事業 (スポーツ振興費)		
担当所属	スポーツ事業推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	スポーツ振興事業費
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	
根拠法令要綱	松本市スポーツ推進計画、松本市競技会・発表会出場者祝金交付要綱、松本市スポーツ推進委員設置規則				
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的とするもの 内容 1 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催 (1) 市内35地区対抗の市民スポーツ大会秋季大会、春夏秋冬の競技別の市民スポーツ大会 (一部中止)、市長杯争奪球技大会 (いずれも松本市スポーツ協会に委託) を開催 (55種目延べ9,137人参加) (2) ファミリースポーツカーニバル (松本市スポーツ推進委員協議会に委託) を開催。体力測定、ニュースポーツ体験、スポーツ教室、パラスポーツ等によるスポーツに触れる機会を提供 (約500人参加) (3) シニア健康教室、親子体操教室、ちよこっとライフアップタイム、エアロビクス教室を延べ109回開催 (延べ4,775人参加) 2 市民スポーツ活動への支援 (1) 総合体育館内のトレーニング室を延べ14,145人が利用 (2) 全国大会等への出場祝金として各種競技会 (ブロック大会以上) 及び国体に出場する市民に対して祝金を交付 (延べ1,291人に交付) (3) 生涯スポーツの普及について、スポーツ推進委員を通じ、各地区でスポーツをする機会の提供をはじめ健康増進に係る活動を実施	対象指標	①	
		②	
	活動指標	①	市民がスポーツをしている割合
		②	
		③	
	成果指標	①	
		②	
		③	
	効率指標	①	
		②	

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
市民が主体的、継続的に取り組むスポーツ活動を推進するため、今後もスポーツ振興事業を継続する。		今後の見込み		
成果	上昇 維持 縮小	コスト		
		削減	維持	増大
		○		

二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	%	47	50	アンケート未実施	51	52	R7	#VALUE!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和2年度はコロナによる運動をする機会の減少や大会の中止で減少したが、3年度は回復傾向がみられ、来年度以降、コロナ禍以前の状況に戻るものと考えられる。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	38,378	22,544	27,842	35,923	38,316
事業費	千円	22,502	6,668	11,966	20,047	22,440
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	22,502	6,668	11,966	20,047
人件費合計	千円	15,876	15,876	15,876	15,876	15,876
正規職員	千円	15,876	15,876	15,876	15,876	15,876
人員	人	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

R2年度及びR3年度はファミリースポーツカーニバルの中止、市民スポーツ大会の一部中止により事業費を減額

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	学校体育施設開放事業		
担当所属	スポーツ事業推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	学校体育施設開放事業費	
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	予算事業		
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	
根拠法令要綱	松本市立学校体育施設の開放に関する規則				
地域区分		施設種別	スポーツ・公園施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に開放し、社会体育の振興と市民の健康増進を図るもの 内容 1 施設利用環境の整備 社会体育の実施に必要な器具等を整備 2 学校開放事業を円滑に進めるための取り組み 学校施設の利用に関する調整会議や申請書のとりまとめ等を管理指導員に委託 3 受付事務 団体登録事務及び施設利用の徴収等 4 事業内容 (1) 開放している小中学校 40校(利用のある学校) (2) 開放施設 グラウンド、体育館、柔剣道場、テニスコート、講堂 (3) 開放時間 平 日：午前5時～午前7時／午後6時30分～午後 9時 土日祝：午前5時～午後9時 ※梓川地区は 午後10時まで (4) 延べ利用回数 31,272回 (5) 登録団体数 345団体	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	登録団体数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
・令和5年度からインターネット予約システムを導入予定 ・現在は学校教育課とスポーツ推進課で業務を分担して運用しているが、業務の一元化を進めることを検討		今後の見込み コスト 削減 維持 増大	
成果	上昇 維持 縮小		○
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	団体	360	355	345	345	360	R7	96%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和3年度～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により活動が制限されたことに伴い登録団体が減少したが、今後はコロナ禍以前の状況に戻ると考えられる。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	12,940	10,241	10,016	9,826	9,474
事業費	千円	8,404	5,705	5,480	5,290	6,450
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	8,404	5,705	5,480	5,290
人件費合計	千円	4,536	4,536	4,536	4,536	3,024
正規職員	千円	4,536	4,536	4,536	4,536	3,024
人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業		
担当所属	スポーツ事業推進課	連絡先	45-9512
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	松本市熟年体育大学事業	
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	H9 ~ R4	会計種別	一般会計	事業種別	
根拠法令要綱	スポーツ基本法、健康増進法				
地域区分	-	施設種別	-	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 40歳以上の市民の体力低下抑制や健康づくり、受講生同士の交流を図るもの。 内容 1 熟年体育大学事業 (1) 2年間のプログラムを実施。(令和4年度末で事業終了のため、令和4年度は2学年のカリキュラムのみ実施) 受講生28名 (2) 年18回の集団講座(健康講座やスポーツ実技、体力測定、血液検査など)と週1~2回の筋力トレーニングを実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	データ改善率(熟年体育大学受講生持久体力維持・改善者率)
	②	定員に対する受講生数の割合
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価(内部評価)				
今後の実施方向性	廃止	前年度の結果	縮小	
R4で事業廃止(25年前の開校当時に比べ社会資源が充足し一定の役割を終えたと判断)			今後の見込み	
成果	上昇 維持 縮小	コスト		
		削減	維持	増大
		○		
二次評価(外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	%	83	80	80		80	毎年	100%
	②	%	41	34	募集していない		80	毎年	#VALUE!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

熟年体育大学では、定期的な運動活動を実施したため持久力の維持・改善が見られた。受講生数は各地区に公民館や福祉ひろばが設置された時期から年々減少し、民間スポーツクラブが市内に増えた頃（平成30年）からは定員の半分以下となった。また、集団活動よりも個々の対応を求める社会情勢となっていることが影響1つと思われる。

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	21,599	17,505	14,639	8,101	0
事業費	千円	8,039	4,677	5,579	2,209	0
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	8,039	4,677	5,579	2,209
人件費合計	千円	13,560	12,828	9,060	5,892	0
正規職員	千円	7,560	9,828	7,560	5,292	0
人員	人	1.0	1.3	1.0	0.7	0.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	6,000	3,000	1,500	600	0
人員	人	2.0	1.0	0.5	0.2	0.0
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

平成31年度まで、第1トレーニング室の管理を会計年度任用職員が行っていた。令和2年度から全面委託となり1名削減となった。R4は受講生の新規募集をせず1学年は0名で関与する職員数も減。社会情勢の変化から、一定の役割を終えたと判断し、令和4年度末で事業廃止。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	C 概ねなっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか	
一次評価	C 概ね結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか	
一次評価	D コストに対する成果や効果がやや乏しい

【総合評価】

評価	C
----	---

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	負担金 (スポーツ振興費)		
担当所属	スポーツ事業推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	負担金
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	~	会計種別	一般会計	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱					
地域区分		施設種別		予算要求区分	経常・政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 各種スポーツ大会の開催を通じてスポーツに親しむ機会を創出し、交流の拡大による地域活性化や、健康づくりへの意識向上を図るため、地域スポーツ活動への支援を目的として事業を実施するもの 内容 1 松本クロスカントリー大会 (第20回) 小学生から一般を対象に、距離・年齢・性別により18の κατηγοリーを設けて実施 2 市町村対抗駅伝競走大会 (第31回) 長野県内の市町村による駅伝競走大会 3 松本マラソン (第6回) ※第2・4・5回は中止 4 鹿児島市・松本市スポーツ交流事業 鹿児島市との文化・観光交流協定に基づくスポーツ交流事業を実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	松本クロスカントリー大会参加者数
	②	松本マラソン参加者数 ※マラソン及びファミリーランの合計
	③	
	成果指標	
	①	松本マラソンに対するランナー満足度
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続	
・地域に根付いたスポーツ大会や、松本の特徴を生かした「松本マラソン」の開催など、多彩なスポーツイベントにより、幼少期から参加できる生涯スポーツ活動の推進が図られているとともに、松本の魅力発信にも寄与していると捉える。 ・今後は、コロナ禍収束を見据え、スポーツへの興味をより喚起し、あらためて「健康づくり」「生きがいづくり」に繋げる事業を実施する。	今後の見込み	コスト		
	成果	上昇維持 縮小	削減	維持 増大
			○	
二次評価 (外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	人	大会中止	969	735	1,000	1,000		74%
	②	人		7,751	6,160	10,000	10,000人以上		#VALUE!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	%	大会中止		84	90	90%以上		#VALUE!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

活動指標①②：コロナ禍の影響を受け、申し込み控えによる参加者減となったもの

成果指標の増減維持理由

成果指標①：コロナ禍の影響や災害による2年連続の中止を経て3年ぶりの開催となったことや、開催時期の変更や新コース設定など、初の試みを実施した大会であったが、過去の開催大会並みに満足度を維持することができた。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	121,547	91,964	155,414	143,265	143,068
事業費	千円	103,403	73,820	137,270	126,633	121,900
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	103,403	73,820	137,270	126,633
人件費合計	千円	18,144	18,144	18,144	16,632	21,168
正規職員	千円	18,144	18,144	18,144	16,632	21,168
人員	人	2.4	2.4	2.4	2.2	2.8
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

R2年度東京2020オリンピック聖火リレー実行委員会、事前キャンプ受け入れのため事業費の増額。松本マラソン、松本クロスカントリー大会、市町村対抗駅伝大会、鹿児島市交流事業の中止により事業費を減額
R3年度東京オリンピック、パラリンピック事前キャンプ受け入れのため事業費が増加

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B		
----	---	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	補助金 (スポーツ振興費)		
担当所属	スポーツ事業推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実		
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	
事業期間	~	会計種別	一般会計
根拠法令要綱	松本市補助金交付規則 松本市スポーツ推進委員設置規則		
地域区分		施設種別	
		事業種別	
		予算要求区分	経常・政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
趣旨・目的 市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の団体等に補助を実施 内容 1 松本市スポーツ協会 競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る松本市の総合的な体育団体である一般財団法人松本市スポーツ協会へ補助 2 スポーツ推進委員協議会 地域スポーツの推進等を図るスポーツ推進委員協議会へ補助 3 長野県縦断駅伝競走大会 松本市チームへ補助 4 スポーツ少年団 青少年の健全育成、指導者等の育成を図るスポーツ少年団へ補助 5 スポーツ交流大会 競技団体が独自に実施している姉妹都市とのスポーツ交流大会へ補助 (藤沢市・松本市交歓サッカー大会) 6 全国大会、ブロック大会 松本市で開催される大会へ補助 (全国大会3件、ブロック大会6件) 7 ジュニアスキー育成 青少年の健全育成、競技スキー技術の向上を図るスキー団体へ補助 (乗鞍、奈川)	① 補助金対象団体数
	②
	活動指標
	①
	②
	③
	成果指標
	①
	②
	③
	効率指標
	①
	②

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
新型コロナウイルス感染症の影響で、各種大会の縮小・延期、中止などはみられるが、主管団体の開催方法等の工夫により、徐々に活動が再開されている。市民が主体的、継続的に取り組むスポーツ活動を推進するため、団体等への補助を継続する。	成果 上昇 維持 縮小	今後の見込み	
		コスト	
		削減	維持
		○	
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①	団体			14	13			
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	31,066	26,787	34,222	28,411	29,810
事業費	千円	27,286	23,007	30,442	24,631	26,030
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	27,286	23,007	30,442	24,631
人件費合計	千円	3,780	3,780	3,780	3,780	3,780
正規職員	千円	3,780	3,780	3,780	3,780	3,780
人員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						
R2年度はコロナのため事業中止により補助金を減額。R3年度以降ジュニアスキー補助金の見直しにより減額。全国大会、ブロック大会は各年度の開催大会数により増減						

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

スポーツ施設整備課

課長 輪湖 稔

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	新型コロナウイルス関連補償金		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業	中事業名	スポーツ施設管理運営事業費
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	R3 ~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱	松地方自治法、松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例、松本市体育施設の設置管理等に関する条例				
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 スポーツ施設の管理運営を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者制度を導入し、施設の適切な維持管理と質の高いサービスの提供に努めています。 指定管理施設における新型コロナウイルス感染症及びエネルギー価格高騰から指定管理料に影響が生じたため、所要の補償をするもの 内容 (1) 新型コロナウイルス感染症による補償 ア 令和2年度 令和2年4月 1日～5月31日までの休館等 2月補正額 11,220,000円 イ 令和4年度 令和4年1月29日～3月 6日までの休館等 9月補正額 5,110,000円 (2) エネルギー価格高騰による電気料等の補償 ア 令和4年度 電気料金、ガス料金、燃料費 2月補正額 20,310,000円 当該指定管理施設 (1) 弓道場他1施設 … ㈱セイウン (2) 美須々屋内運動場外7施設 … TOYBOX (3) サッカー場外2施設 … TOYBOX (4) 野球場 … 信州グリーン・シミズオクトグループ (5) 庄内屋内プール外1施設 … ゆめひろば庄内運営企業体 (6) 四賀・波田B&G海洋センター … ㈱スポーツプラザ報徳	対象指標		
	①		
	②		
	活動指標		
	①		
	②		
	③		
	成果指標		
	①		
	②		
	③		
	効率指標		
①			
②			

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)				
今後の実施方向性	前年度の結果	今後の見込み		
新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が5類になることから、同様の補償料は想定していない。エネルギー価格高騰については、今後の社会情勢を注視しながら、各指定管理者との協議を継続する。		コスト		
		削減	維持	増大
	成果	上昇 維持 縮小	○	
二次評価 (外部評価)				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
成果指標の増減維持理由									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	0	11,976	0	26,176	0
事業費	千円		11,220		25,420	
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	0	11,220	0	25,420
人件費合計	千円	0	756	0	756	0
正規職員	千円	0	756	0	756	0
人員	人		0.1		0.1	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					
トータルコストの増減維持理由						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	C	概ね結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B				
----	---	--	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	スポーツ施設管理運営事業費	
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	H25 ~	会計種別	一般会計	事業種別	その他
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則				
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設	予算要求区分	経常経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 市内スポーツ施設（87施設）の故障、破損、経年劣化及び各種法令等に基づく改修、整備を行い、利用者が安心して利用できる環境整備を進めるもの。指定管理者制度を導入しながら、効率的かつ効果的な管理運営を進めている。 内容 (1) スポーツ施設数 87施設 ア 指定管理管理者制度導入施設 22施設 イ 市が管理する施設 65施設 (2) スポーツ施設維持管理コスト ア スポーツ施設管理費 747,318千円 イ うち指定管理料 337,940千円（補償分含む）	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	スポーツ施設の適正な維持管理（複合・集約化含む）
	②	
	③	
	成果指標	
	①	スポーツ施設の上限を78施設以下
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）				
今後の実施方向性	前年度の結果	今後の見込み		
指定管理者制度導入・市職員によるスポーツ施設の定期点検・整備や専門業者への委託業務により、施設の維持管理を継続して実施している。 今後も優先度の高い施設の整備、改修を計画的に行い、安全・安心な施設の管理に努める。また、スポーツ施設は、個別施設計画に登載した方針に基づき、人口分布、利用需要に応じた施設量の見直しを行い、施設の複合・集約化により再配置を進める。		コスト		
		削減	維持	増大
	成果	上昇 維持 縮小	○	
二次評価（外部評価）				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①			76	75	77	75	7	100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①			78	78	78	78	7	100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

令和3年度は、旧庄内体育館、大野田運動広場の2施設、令和4年度は、庄内庭球場1施設を除却し、スポーツ施設の維持管理を適正に進めたことによるもの

成果指標の増減維持理由

これまで市が政策的に進めてきたスポーツ施設は充足していると捉え、既存スポーツ施設数を上限に適切な維持管理を進めるもの

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
トータルコスト	千円	966,305	520,038	805,808	800,828	653,517	
事業費	千円	921,063	474,796	759,054	747,318	590,960	
特定財源	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	受益者負担	千円	86,214	57,903	63,459	77,192	89,180
	その他	千円					
	一般財源	千円	834,849	416,893	695,595	670,126	501,780
人件費合計	千円	45,242	45,242	46,754	53,510	62,557	
正規職員	千円	30,240	30,240	31,752	32,508	38,556	
人員	人	4.0	4.0	4.2	4.3	5.1	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	15,000	15,000	15,000	21,000	24,000	
人員	人	5.0	5.0	5.0	7.0	8.0	
会計年度(3類)職員	千円	2	2	2	2	1	
その他職員	千円						

トータルコストの増減維持理由

各年度の受益者負担は、歳入決算額（施設使用料）、事業費は、歳出決算（スポーツ施設管理費）としており、各年度ごとに必要な改修や修繕を行っていることからコストに変動が生じている。限られた人員と予算の中で、個別施設計画に基づく適正な施設の維持管理を進める。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか	
一次評価	
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか	
一次評価	B になっている

【総合評価】

評価	B
----	---

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	社会体育施設大規模改修事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	社会体育施設大規模改修事業費	
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	H19 ~	会計種別	一般会計	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則				
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設	予算要求区分	政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 個別施設計画に基づき、市民が安心、安全に利用できる施設環境を整備するもの。優先度の高い(次年度以降施設利用に影響が発生する恐れのある)施設から計画的に実施する。 内容 大規模改修改修工事前年度に実施設計、前々年度に劣化度調査し、施設毎の劣化度状況に応じて改修内容を精査し工事を実施する。 (1) 令和3年度 梓川体育館劣化度調査 (2) 令和4年度 梓川体育館大規模改修工事実施設計 (3) 令和5年度 梓川体育館大規模改修工事(令和6年度まで)	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	施設整備数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	各年度に計画した施設整備の実施
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

一次評価(内部評価)

今後の実施方向性	前年度の結果	今後の見込み			
個別施設計画で基準を定めている鉄骨造は40年で大規模改修、80年で改築、鉄筋コンクリート造は40年で長寿命化、80年で改築とすることに基づき、スポーツ施設の維持管理に必要な改修を計画的に進める。		成果	コスト		
			削減	維持	増大
		上昇維持縮小		○	

二次評価(外部評価)

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①			1	1	1	1		100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①			1	1	1	1		100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

スポーツ施設の大規模改修を計画的に実施する。

成果指標の増減維持理由

計画した改修内容を遅滞なく行う。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	320,640	0	9,967	11,672	111,002
事業費	千円	315,348		4,675	6,380	105,710
特定財源	国庫支出金	千円	19,388			5,090
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	295,960	0	4,675	6,380
人件費合計	千円	5,292	0	5,292	5,292	5,292
正規職員	千円	5,292	0	5,292	5,292	5,292
人員	人	0.7		0.7	0.7	0.7
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人					
会計年度(3類)職員	千円					
その他職員	千円					

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	総合体育館改修事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実		
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	
事業期間	H25 ~ R7	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則		
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設
予算要求区分	政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 総合体育館は、年間を通じて多くの来館者を迎える基幹体育施設です。国民スポーツ大会競技会場でもあるため、計画的な改修を行い利用環境の改善を図るもの。建設から30年以上が経過し、老朽化した施設、設備を利用者の安全性及び利便性向上のため、計画的に改修するもの。 内容 (1) 令和4年度 非構造部材耐震化及び内装改修工事実施設計 (2) 令和5～6年度 非構造部材耐震化及び内装改修工事 (メインアリーナ・サブアリーナ利用休止) 工事内容：メイン天井、照明設備等の耐震化、メイン・サブアリーナ天井・壁・床改修、全照明LED化、共用部天井改修、メインアリーナ天井ルーバー改修、メインアリーナバトン等改修、消防設備改修（スプリンクラー） (3) 令和7年度 観客席改修工事	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	施設整備数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	計画的に整備事業を実施
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）					
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続		
利用制限を極力抑えながら大規模改修事業を継続し、利用者が安心・安全かつさらなる施設利用環境の充実に視野に入れた改修事業を行う。スポーツ競技・交流人口拡大につなげるため、幅広く関係者の意見に耳を傾けつつ市民のニーズや利用状況を把握したうえで、将来を見据えた改修等を実施する。			今後の見込み		
			コスト		
			削減	維持	増大
成果	上昇	維持	縮小		
				○	
二次評価（外部評価）					

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①		1	1	1	1	1		100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	事業	1	1	1	1	1		100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

総合体育館の大規模改修を計画的に実施する。

成果指標の増減維持理由

計画した改修内容を遅滞なく行う。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	90,517	139,555	185,123	139,239	149,258
事業費	千円	67,837	116,875	182,855	136,971	146,990
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	67,837	116,875	182,855	136,971
人件費合計	千円	22,680	22,680	2,268	2,268	2,268
正規職員	千円	22,680	22,680	2,268	2,268	2,268
人員	人	3.0	3.0	0.3	0.3	0.3
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(3類)職員	千円	0	0	0	0	0
その他職員	千円	0	0	0	0	0

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	屋内体育施設耐震化事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光				
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実				
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名	屋内体育施設耐震化事業費	
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実			
事業期間	H29 ~ R4	会計種別	一般会計	事業種別	政策的事務
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則				
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設	予算要求区分	政策的経費

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 大規模地震による天井の脱落等による被害を受けた、建築基準法施行令の改正に伴い、利用者の安全性の確保を目的に、屋内体育施設の非構造部材耐震工事を計画的に実施するもの 内容 屋内体育施設の非構造部材（バスケットゴール・照明・吊り天井等）の落下防止及び耐震化等の対策を実施するもの (1) 平成28年度 調査・実施設計（市内31施設） (2) 平成29年度～ 調査結果に基づき、計画的に工事を実施（令和3年度末で27施設） (3) 令和4年度 庄内屋内プール、島立体育館、今井体育館を実施 (4) 令和5年度 梓川体育館を実施予定（令和6年度まで） ※社会体育施設大規模改修事業内で実施	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	非構造部材耐震化整備数
	②	
	③	
	成果指標	
	①	非構造部材耐震化合計数
	②	
③		
効率指標		
①		
②		

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）								
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続					
本年度計画していた3施設の耐震化事業は予定のとおり実施できた。工事費用の圧縮、利用制限を極力抑えるため、大規模改修事業と一体的な工事を行っている。市民のニーズや利用状況を把握し、松本市個別施設計画に基づき、安全・安心な施設として維持管理に努め、将来を見据えた改修、集約化・複合化の環境整備を進める。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>上昇</td> <td rowspan="2">維持</td> <td rowspan="2">縮小</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	成果	上昇	維持	縮小		今後の見込み	
			成果			上昇	維持	縮小
コスト		削減	維持	増大				
			○					
二次評価（外部評価）								

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①		4	4	3	1	3		100%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①		23	27	30	31	31		97%
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

大規模改修の計画と調整しながら施設耐震化事業を計画的に実施する。

成果指標の増減維持理由

計画した改修内容を遅滞なく行う。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算	
トータルコスト	千円	21,048	21,554	15,766	74,453	107,222	
事業費	千円	19,536	20,042	14,254	72,941	105,710	
特定財源	国庫支出金	千円	5,973	6,746	4,795	18,210	5,090
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	受益者負担	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	13,563	13,296	9,459	54,731	100,620
人件費合計	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	
正規職員	千円	1,512	1,512	1,512	1,512	1,512	
人員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0	
人員	人						
会計年度(3類)職員	千円						
その他職員	千円						

トータルコストの増減維持理由

各年度で実施するスポーツ施設の耐震化事業の規模が異なるため、コストが変動する。

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	波田扇子田運動公園移設整備事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実		
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	中事業名
事業期間	H28 ~ R7	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則		
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設
予算要求区分	政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要 趣旨・目的 中部縦貫自動車道（松本波田道路）の建設に伴い、支障となる施設の一部について、国の補償を受けて当該施設の移設整備を行うもの 内容 (1) 令和4年度 実施設計 (2) 令和5年度 用地買収・移転補償・解体工事・造成工事 (3) 令和6年度 建築工事・造成工事 (4) 令和7年度 建設用地売却	対象指標	
	①	
	②	
	活動指標	
	①	
	②	
	③	
	成果指標	
	①	
	②	
	③	
	効率指標	
	①	
	②	

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
移設整備を計画的に進める。		今後の見込み	
		コスト	
		削減	維持
成果	上昇	維持	縮小
	○		
二次評価（外部評価）			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
※国と協議をしながら、運動公園の移設をエリアに分けて随時整備するものであり、指標の設定は困難									
成果指標の増減維持理由									
※国と協議をしながら、運動公園の移設をエリアに分けて随時整備するものであり、指標の設定は困難									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	12,872	8,442	9,539	21,188	516,788
事業費	千円	11,360	6,930	7,271	18,920	514,520
特定財源	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	受益者負担	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	11,360	6,930	7,271	18,920
人件費合計	千円	1,512	1,512	2,268	2,268	2,268
正規職員	千円	1,512	1,512	2,268	2,268	2,268
人員	人	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(3類)職員	千円	0	0	0	0	0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
トータルコストの増減維持理由						
事業概要・指標に記載のとおり、令和5年度から用地買収・移転補償・解体工事・造成工事の経費が予算化され、事業費が増となっている。						

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	波田中央運動広場除却事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実		
総合計画	分野	7 文化・観光	予算事業
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	中事業名
事業期間	R4 ~ R6	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則		
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設
予算要求区分	政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
趣旨・目的 市立病院の移転建設地が波田中央運動広場に決定したことを受けて、運動広場付帯設備（管理棟、バックネット等）を解体し、用地売却に向けた整備を進めるもの。	①
	②
	活動指標
	①
	②
	③
	成果指標
	①
	②
	③
	効率指標
	①
	②
内容	
(1) 令和4年度 波田中央運動広場管理棟及び照明塔の一部解体工事、用地測量	
(2) 令和5年度 移転候補地の用地測量	
(3) 令和6年度 波田中央運動広場全付帯設備解体工事（照明、ネット、埋設物） 既存用地売却、地質調査	

【今後の方向性】

一次評価（内部評価）				
今後の実施方向性	廃止	前年度の結果	廃止	
令和5年度に付帯設備のすべてを解体し、令和6年度に条例改正（施設の用途廃止）、病院局に移管します。		今後の見込み		
成果	上昇 維持 縮小	コスト		
		削減	維持	増大
		○		
二次評価（外部評価）				

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

※市立病院建設に向け、運動広場を除却するものであり、指標の設定は困難

成果指標の増減維持理由

※市立病院建設に向け、運動広場を除却するものであり、指標の設定は困難

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	0	0	0	39,400	56,058
事業費	千円	0	0	0	16,720	53,790
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	0	0	0	16,720
人件費合計	千円	0	0	0	22,680	2,268
正規職員	千円	0	0	0	22,680	2,268
人員	人	0.0	0.0	0.0	3.0	0.3
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(3類)職員	千円	0	0	0	0	0
その他職員	千円	0	0	0	0	0

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

【目的妥当性評価】 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている

【有効性評価】 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている

【効率性評価】 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--

令和 5年度 事務事業評価表 (令和 4年度 継続事務事業)

事務事業名	指定喫煙所設置事業		
担当所属	スポーツ推進課	連絡先	45-9511
関連所属			

【事務事業基本情報】

分野	7 文化・観光		
基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実		
総合計画	分野	7 文化・観光	中事業名
	基本施策	7-3 スポーツを楽しむ環境の充実	
事業期間	R4 ~ R4	会計種別	一般会計
事業種別	政策的事務		
根拠法令要綱	松本市体育施設の設置管理等に関する条例 松本市体育施設の設置管理等に関する条例施行規則		
地域区分	-	施設種別	スポーツ・公園施設
予算要求区分	政策的経費		

【事業概要・指標】

事業概要	対象指標
趣旨・目的 受動喫煙防止対策の喫煙所設置基準等に基づき、指定喫煙所が設置できるスポーツ施設の適所に、受動喫煙防止を目的に指定喫煙所を設置するもの 内容 (1) 設置場所 ア 総合体育館西側の屋外に囲いが無い既存の喫煙所を改修 イ 野球場1塁側及び3塁側の屋外に囲いが無い既存の喫煙所を改修 (2) 喫煙所形式 パーティション型 (3) 想定される利用者等 当該施設利用者(8人程度) (4) 喫煙所構造 両幅5m(野球場7m)、高さ2mの塀 クランクあり、塀下10cmの隙間 (5) 設置個所 施設の通路から7m離れた場所	①
	②
	活動指標
	① 指定喫煙所の整備
	②
	③
	成果指標
	① 計画的な整備事業の実施
	②
	③
	効率指標
	①
	②

【今後の方向性】

一次評価 (内部評価)			
今後の実施方向性	継続	前年度の結果	継続
指定喫煙所の適切な維持管理を行っていく。		今後の見込み	
		コスト	
		削減	維持
成果	上昇	維持	縮小
	○		
二次評価 (外部評価)			

【指標の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	①								
	②								
活動指標	①	整備箇所			3				#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
成果指標	①	整備箇所			3				#DIV/0!
	②								#DIV/0!
	③								#DIV/0!
効率指標	①								#DIV/0!
	②								#DIV/0!
活動指標の増減維持理由									
今回指定喫煙所を設置する総合体育館及び野球場を除く、他の体育施設については、興行や各種大会による利用の状況を踏まえ、喫煙所設置の適否を検討する。今後の整備計画は未定									
成果指標の増減維持理由									
同上									

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
トータルコスト	千円	0	0	0	13,314	0
事業費	千円	0	0	0	12,558	0
特定財源	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	千円	0	0	0	12,558
人件費合計	千円	0	0	0	756	0
正規職員	千円	0	0	0	756	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
会計年度(3類)職員	千円	0	0	0	0	0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
トータルコストの増減維持理由						
総合体育館及び野球場に指定喫煙所を整備する単年度の計画、他の体育施設については、興行や各種大会による利用の状況を踏まえ、喫煙所設置の適否を検討することとしているため、今後の整備計画は未定						

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか		
一次評価	B	なっている
[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか		
一次評価	B	想定する成果や効果に結びつくものになっている
[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか		
一次評価	B	なっている

【総合評価】

評価	B			
----	---	--	--	--